

17. 高知女子大学看護学会

高知女子大学看護学会は、看護学の進歩発展と、地域の看護職者の研鑽および看護の質向上に貢献することを目的として、看護学会の開催、公開講座の開催、高知女子大学看護学会誌の発行、奨学金の貸与などの活動を行っている。本学会の運営委員の約半数は、本学部の教員が引き受けており、学外のような現場で活躍している運営委員とともに活動に取り組んでいる。また、運営委員以外の学部の教員からも多くの協力を得て、これらの諸活動をスムーズに展開することができている。

1) 第 47 回高知女子大学看護学会の開催

中止となった第 46 回高知女子大学看護学会の企画を引きつぎ、令和 3 年 7 月 17 日に『人生百年時代の看護の SHIFT (シフト)』をテーマに、第 47 回高知女子大学看護学会を開催した。開催方法については、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止と参加者の安全と健康を第一に考え、全てオンラインとなったが、当日は卒業生・修了生をはじめ県内外の看護職者 191 名のみなさまの参加をえた。

午前中は、京都大学大学院の熊田孝恒先生を講師に「人の心と AI」をテーマでご講演いただいた。講演後のアンケートでは、「AI の可能性と限界を知るとともに看護にどう活かしていくかを考える機会となりました。」「AI の特徴を踏まえて共存しながら看護実践をすることについて考えたいと思いました。」「AI だからできること、人だからできることの違いを研究成果から示してくださり、その上で看護はどうしえいくのかを考えるきっかけとなりました。」などの意見が寄せられた。

午後からは特別企画と 4 つのワークショップを開催し、計 114 名が参加されました。ワークショップでは、修了生や卒業生、教員の話題提供者から、実践の体験をもとに各テーマに関する報告や発表がなされ、参加者との意見交換が行われた。

特別企画：コロナ禍におけるこころのケア

ワークショップ 1：生きづらさを抱える人の農作業を通じた社会参加～農福連携～

ワークショップ 2：地域包括ケアシステムにおける入退院支援事業

ワークショップ 3：乳幼児期からの発達障害児等への早期療育支援

ワークショップ 4：卒業生のキャリアデザイン

2) 高知女子大学看護学会誌の発行について

学会誌を 2 巻発行した。詳細は以下の通りである。

- ・高知女子大学看護学会誌 第 46 巻 2 号：令和 3 年 6 月発行

原著論文 4 編、総説 2 編、研究報告 3 編

- ・高知女子大学看護学会誌 第 47 巻 1 号：令和 3 年 12 月発行

原著論文 5 編、研究報告 4 編

第 47 回高知女子大学看護学会報告、令和 3 年度高知女子大学看護学会総会報告

3) 令和 3 年度 高知女子大学看護学会「公開講座」について

令和 3 年度の公開講座（高知県立大学と共催）は、9 月 18 日（土）に第 1 回と第 2 回「やってみてわかる！看護の量的研究」を、9 月 25 日（土）に第 3 回と第 4 回「やってみてわかる！看護の質的研究」を、全てオンラインにて開催した。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて対面での開催とはならなかったが、県内外から看護師や保健師、助産師、看護教員、大学院学生らの参加がえられた。

	タイトル	講師	日程
第1回	やってみてわかる！看護の量的研究 ①質問紙の作成	内川 洋子先生	9月18日（土） 10：00～12：30 13：30～16：30
第2回	やってみてわかる！ 看護の量的研究 ②量的データ分析の進め方の実際	井上 正隆先生	
第3回	やってみてわかる！看護の質的研究 ①インタビューガイドの作成とインタビューの実際	高谷 恭子先生	9月25日（土） 9：30～12：30 13：30～16：30
第4回	やってみてわかる！看護の質的研究 ②インタビューデータの分析	池添 志乃先生	

昨年度の公開講座は中止となり今年はオンラインでの開催となったが、どの回も20～30名の参加者があり盛況であった。オンラインによる講義については満足度も高く、また内容についても例年通りの高い評価が得られた。実施後のアンケート評価では約94%の方が、満足～とても満足と答えていた。公開講座で研究方法をテーマに取り組み始めてもう数年がたつが、中止をはさんでのオンライン開催であっても一定数の参加者を集めており、研究方法をより具体的に学びたいというニーズの高さを改めて感じている。今後も参加者の方々からのアンケートなどを参考にしながら、期待に応えられる公開講座を提供していけたらと考えている。

4) 奨学金の貸与

令和3年度は奨学金への応募者は0名であった。今後は広く学会員に奨学金について周知をはかることに努める。